

摂理から自然へ

—近代西洋におけるキリスト教的世界観の変容—

古代ローマ帝国におけるキリスト教の国教化以後、教会を通じて「聖書的世界観」はヨーロッパ全土へと伝播しました。しかし、西暦が十五世紀を迎えると、海洋国家による新大陸の発見、ならびに出版産業による世俗的知識の商品化を経て、伝統的世界像は徐々に崩壊してゆきました。本講演では、歴史上の文学作品や絵画を題材に、近代西洋におけるキリスト教的世界観の変容を明らかにします。



ルーカス・クラナハ (父) 「エデンの園」

2019年11月30日(土) 14:00→16:00

講師

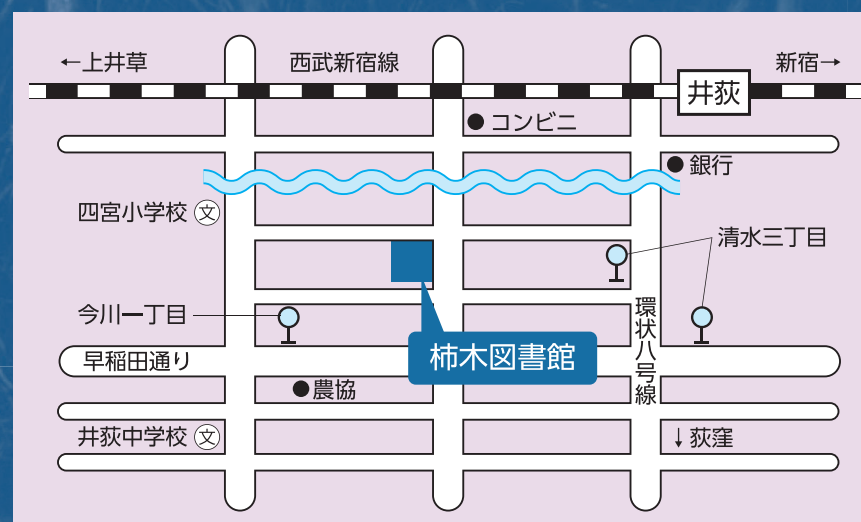
米田 ローレンス正和 先生
白百合女子大学 文学部講師(英語英文学科)



【場 所】杉並区立柿木図書館(杉並区上井草1-6-13)
☎ 03-3394-3801

【定 員】30名(当日、直接会場へお越しください。)

【共 催】白百合女子大学言語・文学研究センター



西武新宿線「井荻駅」南口から徒歩8分
JR中央線、地下鉄丸ノ内線「荻窪駅」からバスで「下井草駅」行、または「井荻駅」行バス停「清水三丁目」から徒歩5分
JR中央線「西荻窪駅」からバスで「井荻駅」行バス停「今川一丁目」から徒歩3分